

あいおい播磨灘の里海づくり活動

活動を行う団体

あいおい播磨灘の里海づくり協議会

（相生湾自然再生学習会議、B&G あいおい海洋クラブ、相生湾ヨットクラブ、相生漁業協同組合ほか沿岸企業により構成。兵庫県相生市が事務局）

活動の概要

相生湾及び播磨灘に係わる様々な主体が、その生物多様性を保全・再生しながら、地域の活性化につなげる里海づくりに取り組んでいる。

相生湾を中心に、年間10回程度、協議会の参画団体がそれぞれ得意分野で中心となり、環境学習プログラムを実施している。

例えば、「海岸清掃と稚魚放流」では、相生湾沿岸でとれる魚をつかみ取りしながら生息している魚を知る。また、「無人島おわん島環境体験とクリーン作戦」では、漂着物での工作や、マイクロプラスチックについて考える取組である。



また、沿岸にある2校の小学校3年生の環境学習にも協力しており、アマモやシバナの苗作りと移植会などを行っている。

その他、年度当初には、小学校4年生以上の生徒20名を募集し、「子ども里海クラブ」と名付け、保護者と共に1年間の活動を行っている。

優良事例のポイント

市民、企業等が参画し、里海づくりを目指し、その一環で環境教育を実施しており、体験し、肌で感じる活動を通して、ふるさとに愛着や誇りが持つことができている。

アマモの移植を行い続け、相生湾に徐々に根付き始めているといった成果があるほか、生物調査で関心を持ち、その後も調査研究を続けている兄弟がいたり、その他、子どもたちと漁師ら地域の方との関わりが生まれたといった効果が見られた。